

令和元年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県男女共同参画センター
条例上の設置目的	社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県男女共同参画ハーモニー条例に基づき、男女がお互いの人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会を目指すこと。 ・本市の男女共同参画施策を推進するための拠点施設として、市民及び事業者の男女共同参画社会の形成に関する取組みを支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	男女共同参画社会の実現に向け、調査・研究事業、情報収集提供事業、相談事業、研修・学習事業、交流啓発事業を実施すること。
制度導入により見込まれる効果	センターの施設の各機能を十分に生かした幅広い男女共同参画推進のための事業展開の実現
成果指標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 講座の受講者アンケートにおける満足度 ② 施設利用者数
数値目標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 「満足」 70%以上 ② 増加（前年度比1%以上）
所管課	市民局生活文化スポーツ部男女共同参画課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	<p>【代表団体】 社会福祉法人千葉県社会福祉事業団</p> <p>【構成団体】 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会</p> <p>【構成団体】 公益財団法人千葉県文化振興財団 ※千葉県男女共同参画センター担当</p>
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）
選定方法	非公募
非公募理由	<p>千葉県ハーモニープラザは、平成28、29年度において、施設全体のあり方を検討した結果、ことぶき大学校及び男女共同参画センターの一部を蘇我コミュニティセンターの分館に転用する方向性を定めた。</p> <p>また、平成30年度から令和元年度までの2年間においては、利用者等への周知や施設の効果的かつ効率的な管理体制等の調整をすることとしており、指定管理者の選定にあたっては、指定期間が原則の5年間より短い、2年間であっても、安定した施設運営が可能な団体を選定する必要があることから、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」第2条第3号の規定に基づき、実績のある現指定管理者の千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体を非公募で指定することとした。</p>
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	令和元年度実績	達成率※
講座の受講者アンケートにおける満足度	「満足」70%以上	88.8%	126.9%
施設利用者数	増加（前年度比1%以上）（前年度比）	55,626人（62,401人）	89.1%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	令和元年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目	令和元年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	133,316	129,702	実績－計画 771	新型コロナウイルス対策による施設利用料金返金に伴う補填
	計画	132,545	129,702	計画－提案 △ 4,944	提案時と計画時の人員配置の差
	提案	137,489	130,617		
利用料金収入	実績	9,314	10,790	実績－計画 △ 3,164	施設利用件数の減
	計画	12,478	12,358	計画－提案 0	—
	提案	12,478	12,358		
その他収入	実績			実績－計画 0	
	計画			計画－提案 0	
	提案				
合計	実績	142,630	140,492	実績－計画 △ 2,393	
	計画	145,023	142,060	計画－提案 △ 4,944	
	提案	149,967	142,975		

イ 支出

(単位：千円)

費目	令和元年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
人件費	実績	110,632	105,569	実績－計画	△ 2,827	人員配置の変更
	計画	113,459	111,064	計画－提案	△ 4,454	提案時と計画時の人員配置の差
	提案	117,913	111,734			
事務費	実績	9,045	9,909	実績－計画	△ 1,090	事務経費の削減
	計画	10,135	10,495	計画－提案	△ 831	—
	提案	10,966	10,495			
管理費	実績	4,101	3,814	実績－計画	△ 37	印刷製本費の削減
	計画	4,138	3,880	計画－提案	90	公課費の増加
	提案	4,048	3,873			
委託費	実績	14,588	11,274	実績－計画	2,084	委託業務費の増加
	計画	12,504	12,103	計画－提案	870	委託業務の増加
	提案	11,634	11,490			
その他事業費	実績	1,632	1,548	実績－計画	△ 800	講師謝礼の見直し
	計画	2,432	2,187	計画－提案	△ 620	講師謝礼の見直し
	提案	3,052	3,052			
本社費・共通費	実績	2,189	2,207	実績－計画	△ 166	事務局（本部）経費の削減
	計画	2,355	2,331	計画－提案	1	公課費の増加
	提案	2,354	2,331			
合計	実績	142,187	134,321	実績－計画	△ 2,836	
	計画	145,023	142,060	計画－提案	△ 4,944	
	提案	149,967	142,975			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

【事務局（本部）経費の配賦基準・算定根拠】

文化振興財団法人事務局における経費について、平成26年度に千葉市外郭団体を対象に実施された、千葉市包括外部監査における監査人の提案に基づいて、事務局経費全体を当該財団の平成28年度経常収益積算額に占める指定管理委託料及び利用料金等の合計金額の割合で按分率を算出し、配賦している。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		令和元年度	【参考】 H30年度
自主事業収入	実績	1,239	328
その他収入	実績		
合計	実績	1,239	328

イ 支出

(単位：千円)

費目		令和元年度	【参考】 H30年度
人件費	実績	651	566
事務費	実績	11	4
管理費	実績	3	0
委託費	実績	990	219
使用料	実績	181	125
事業費	実績	339	210
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
本社費・共通費	実績	0	0
合計	実績	2,175	1,124

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

—

(3) 収支状況

(単位：千円)

		令和元年度	【参考】H30年度
必須業務	収入合計	142,630	140,492
	支出合計	142,187	134,321
	収支	443	6,171
自主事業	収入合計	1,239	328
	支出合計	2,175	1,124
	収支	△ 936	△ 796
総収入		143,869	140,820
総支出		144,362	135,445
収支		△ 493	5,375
利益の還元額		0	0
利益還元の内容		—	—

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
講座の受講者アンケートにおける満足度「満足」70%以上の達成	A	数値目標を達成しており、成果を上げている。 ※実績：88.8%、達成率：126.9%
施設利用者数増加（前年度比1%以上）（市設定数値：前年度比）の達成	C	指定管理者設定の数値目標と市設定の数値目標を共に下回る結果となった。 ※実績：55,626人（H30年度62,401人）、達成率：89.1%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	(令和元年度) 提案額：137,489千円 指定管理料：133,316千円 ※削減率3.0%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	C	C	・関連法令等を遵守し、適正に業務を行っている。 ・リスク管理・緊急時対応について、千葉市ハーモニープラザ内各施設との連絡調整や情報共有を図るなど、管理協力体制を構築している。
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	・シフト制により適正な人員で業務を行っている。 ・各種研修等に積極的に出席し、能力の向上に努めている。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	・施設の状態を常時把握し、設備異常などの早期発見に努めている。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	・提案どおり適正に履行している。 ・チラシを公共施設へ配架、ホームページの情報を随時更新、出張講座を積極的に行うなど、利用促進に努めている。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	・利用者への支援について、提案どおりの内容を確実に履行している。 ・利用者アンケートなどの結果において課題があれば、ミーティングの場で改善策を検討するなど、利用者サービスの充実に努めている。
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			

(3) 施設における事業の実施			・出張講座を積極的に行うなど、男女共同参画センター事業の周知・内容の充実に努めている。また、研修・学習事業以外の事業についても提案・計画どおり適正に実施している。
	施設の事業の効果的な実施	C	
	自主事業の効果的な実施		
4 その他			
	市内業者の育成	C	C
	市内雇用への配慮		
	障害者雇用の確保		
	施設職員の雇用の安定化への配慮		
			・市内業者の育成や障害者雇用の確保などについて、配慮した管理運営が行われている。

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
同種の事業とのすみ分け等、施設の在り方や継続性について、引き続き検討をしていただきたい。	平成30年度	男女共同参画社会形成を推進する拠点施設として、情報の収集及び提供等、各種事業の充実に努めた。さらに、地域における男女共同参画施策の推進を図るため、市民にとって身近な公共施設等での出張講座を拡充するなど機能強化を図った。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設貸出時にアンケート用紙を渡し、終了時に回収
	回答者数	有料施設 62件
	質問項目	当館を選んだ理由・ご利用回数・どこで知ったか・施設の清潔感・使いやすさ・スタッフ・備品・インターネット予約
結果	選んだ理由(複数回答可)：立地39件、施設規模17件、利用料金が適当9件、希望日が空いていた14件、その他13件	
	利用回数：初めて5件、2回目4件、3回目0件、4回以上51件、未回答2件	
	どこで知ったか：知人15件、ハーモニープラザHP6件、千葉県HP13件、その他18件、未回答10件	
	清潔感：非常に満足38件、満足22件、やや不満0件、不満足0件、未回答2件	
	使いやすさ：とても使いやすい32件、使いやすい27件、使いにくい1件、未回答2件	
	スタッフ：非常に満足31件、満足22件、やや不満0件、不満足0件、未回答9件	
	備品：非常に満足27件、満足30件、やや不満1件、不満足0件、未回答4件	
	インターネット予約：とても使いやすい8件、使いやすい18件、使いにくい2件、未回答34件	

実施内容	調査方法	講座受付時にアンケート用紙を配布し、終了時に回収
	回答者数	回答者数 880人
	質問項目	性別・年代・居住区・参加したことのあるもの・これまでの利用回数・この講座をどのように知ったか・この講座に参加した理由・職員の対応・満足度
結果	<p>性別：女性368人、男性114人、答えたくない1人、未回答397人</p> <p>年代：20歳未満19人、20代24人、30代96人、40代144人、50代118人、60代216人、70代223人、答えたくない15人、未回答25人</p> <p>居住区：中央区379人、花見川区44人、稲毛区76人、若葉区76人、緑区77人、美浜区80人、市外109人、答えたくない3人、未回答36人</p> <p>参加したことのあるもの(複数回答可)：講座424人、情報資料センター214人、相談31人、交流コーナー78人、施設利用174人、まつり228人、シアター108人、フィットネス35人、託児室30人、フォーラム70人、その他62人</p> <p>これまでの利用回数：はじめて462人、過去1回72人、何回も202人、未回答144人</p> <p>この講座をどのように知ったか：ハーモニープラザに来館206人、講座News112人、市政だより101人、家族知人90人、ホームページ27人、新聞3人、その他76人、未回答265人</p> <p>この講座に参加した理由(複数回答可)：テーマに興味465人、男女共同参画に関心82人、知識を身につけたい175人、視野を広げたい141人、講師に惹かれた123人、自分の気持ちや生き方を考えたい84人、家族知人に誘われた82人、仲間を作りたい15人、その他161人</p> <p>職員の対応：とても良い332人、良い190人、普通72人、悪い5人、未回答281人</p> <p>満足度：満足575人、ほぼ満足206人、どちらともいえない33人、やや不満8人、未回答58人</p>	

実施内容	調査方法	面接による相談のため来館した方が、待合室でアンケートに記入
	回答者数	回答者数 3人
	質問項目	相談室を知ったきっかけ・相談時間・相談員の対応・相談が役に立ったか・今後も利用したいか・年代
結果	<p>相談室を知ったきっかけ：パンフレット1人、市政だより1人、知り合いから1人</p> <p>相談時間：ちょうどよかった3人</p> <p>相談員の対応：良かった3人</p> <p>相談が役に立ったか：とても役に立った2人、役に立った1人</p> <p>今後も利用したいか：利用したいと思う3人</p> <p>年代：10代1人、40代1人、70代以上1人</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
研修室A2の入口が机に邪魔されていて入りにくい。	机の配置を調整した。
和茶室の電気のスイッチが分かりにくい。	入り口脇に室内の約10の照明スイッチがあり、劣化により見えづらくなっていたため、表示を貼りなおすことで分かりやすくした。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業及び施設等管理について、事業計画に沿って遺漏なく行った。 ・調査・研究事業において、「千葉市における女性の社会参画に関する意識調査」や「ダイバーシティ時代の広報イラストのヒント」など、市の男女共同参画施策の参考となる資料および男女共同参画の視点に立った実践書を作成した。 ・相談業務について、事業計画どおり「女性相談」・「男性相談」を行い、さまざまな悩みや問題を抱えた方からの相談を積極的に受けた。 ・自主事業では、男女共同参画の周知及びハーモニープラザの賑わいを創出するための事業を実施した。 ・講座の受講者アンケートにおいて「満足度」が目標を大きく上回るなど、一定の成果を上げることができた。
----------	---	----	---

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、適正に管理運営されている。 ・出張講座を積極的に行うなど、男女共同参画センター事業の周知・内容の充実に努めている。 ・調査・研究事業において、男女共同参画の視点から広報等を作成する際の注意点などをわかりやすくまとめた冊子「ダイバーシティ時代の広報イラストのヒント」を作成し、幅広い分野への男女共同参画の推進を図っている。 ・自主事業についても、管理運営業務に支障をきたすことなく実施しており、賑わいの創出に寄与している。
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。 ・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められる。特に相談業務については、充実しており評価できるが、次の事項に留意されたい。 ①同種の事業とのすみ分け等、施設の在り方や継続性について、引き続き検討をしていただきたい。 ②コロナ禍における施設の利用制限を踏まえ、制度所管部局とも協議し、次年度以降、適切な評価方法についての検討をしていただきたい。
